

# 「IoT時代におけるOSSの利用と法的諸問題及び留意点」 —想定事例による検討—

現在、オープンソースソフトウェア（以下「OSS」）の利用は、単に経費の節減というだけではなく更なるビジネスの高度化実現のために、システム開発への利用に加え、クラウドやIoT、ビッグデータ等の分野においても必要不可欠な状況にあると言っても過言ではありません。

一方で、OSSのライセンスには各種のタイプがあり、GPLのような当該OSS改変後のソースコード公開義務やその伝搬性等が問題となるようなタイプもあることから、OSSを選択、利用する際に留意すべき事項を理解しておくことはトラブル防止のためにも重要となっています。

本セミナーでは、OSSを電子機器等に組み込んで利用する場合と、ソフトウェア開発の場面で利用する場合との2つの想定事例(\*)を元に、OSSライセンスの法的性質、GPLの伝搬性の問題、OSSの不具合に起因する保証／責任の問題、特許問題、越境問題及びOSSの管理体制等について検討します。

(\*)2つの想定事例(組込の場合、SIの場合)は、現在作成中です。でき次第下記にてご覧いただけるようにします。

<http://www.softic.or.jp/>

開催日：**平成30年2月28日(水) 13時30分～17時30分**

場 所：日本消防会館 5階「大会議室」(東京都港区虎ノ門2-9-16)

電話 03-3503-1486 <http://www.nissho-jyuhou.jp/nissho-hall/accesmap.html>

主 催：一般財団法人ソフトウェア情報センター

講 師：

◇モデレータ：宮下佳之氏 弁護士(西村あさひ法律事務所)

◇パネリスト：岩井久美子氏 弁護士(曾我法律事務所)

岩切美和氏 (株)日立製作所知財マネジメント本部技術情報管理 G GL 部長代理

岩原将文氏 弁護士(水谷法律特許事務所)

上沼紫野氏 弁護士(虎ノ門南法律事務所)

梅谷真人氏 富士ゼロックス(株) 知的財産部渉外グループ長

大内佳子氏 富士通(株) 法務・コンプライアンス・知的財産本部知的財産イノベーション統括部

片山史英氏 弁護士(虎ノ門南法律事務所)

松島淳也氏 弁護士(松島総合法律事務所)

村尾治亮氏 弁護士(東啓総合法律事務所)

プログラム：

**13:30 開会**

**1. 想定事例の説明**

**2. 「組込型 OSS」の利用に関する法的諸問題、留意点 [想定事例 I]**

- (1) ソースコード提供義務：OSS ライセンスの法的性質、GPL の留意点等
- (2) 製造物責任：ソフトウェア及びプリンタの責任、OSS 利用の品質保証上の留意点等
- (3) 開発元に対する求償：OSS に起因する損害賠償責任免責特約の有効性等
- (4) 国際的な著作権侵害係争：OSS ライセンス条件違反と著作権侵害、国際裁判管轄、準拠法

**3. 「S I 開発」への OSS 利用に関する法的諸問題、留意点 [想定事例 II]**

- (1) 特許侵害訴訟：対応策等
- (2) OSS ライセンス違反：AGPLv3 違反、Apache License2.0 違反
- (3) 個人情報漏洩：損害賠償等
- (4) 再発防止と管理の改善等：OSS の採用基準、OSS チェックツールの利用、管理体制等

**4. 過去の係争事例**

**5. 質疑応答**

**17:30 閉会**

※途中、中頃で休憩

※プログラムの内容等は、急遽、変更になることがあります。

料 金 (税込)：賛助会員 4,320 円、一般 7,560 円

定 員：100 名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

問合／申込先：

一般財団法人ソフトウェア情報センター OSS セミナー担当

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-16-11 愛宕イーストビル 14F

電話 03-3437-3071, <http://www.softic.or.jp>, Fax 03-3437-3398、電子メール 2017-4@softic.or.jp